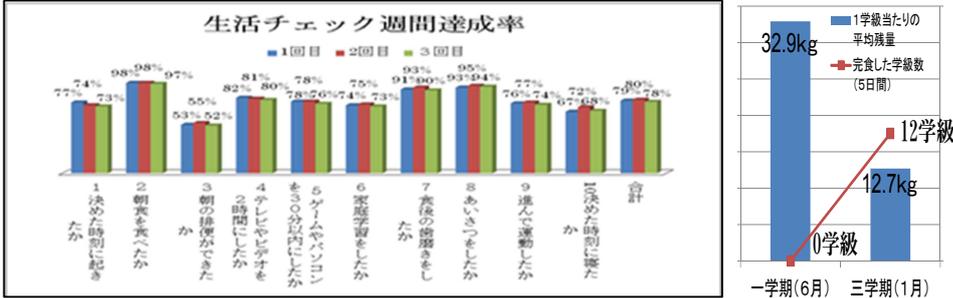


栄養教諭を中核とした食育推進事業 事業結果報告書

都道府県名	島根県
再委託先	出雲市

1 具体的な取組等について

テーマ1	栄養教諭を中核とした食育推進体制の整備																																																										
評価指標	食習慣が改善され、給食を残さず食べることができるようになる。 ① 朝食の摂取状況や内容の改善 ② 給食の残量の減少																																																										
効果	① 朝食の摂取状況や内容の改善	② 給食の残量の減少																																																									
	 <p>生活チェック週間達成率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>1回目</th> <th>2回目</th> <th>3回目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1 決めた時刻に起き</td><td>77%</td><td>74%</td><td>73%</td></tr> <tr><td>2 朝食を食べたか</td><td>98%</td><td>98%</td><td>97%</td></tr> <tr><td>3 朝の排便ができたか</td><td>55%</td><td>53%</td><td>52%</td></tr> <tr><td>4 テレテレビやビデオを2時間にしたか</td><td>81%</td><td>80%</td><td>80%</td></tr> <tr><td>5 ゲームやパソコンを30分以内にしたか</td><td>78%</td><td>75%</td><td>74%</td></tr> <tr><td>6 家庭学習をしたか</td><td>75%</td><td>74%</td><td>73%</td></tr> <tr><td>7 食後の歯磨きをしたか</td><td>93%</td><td>91%</td><td>90%</td></tr> <tr><td>8 あいさつをしたか</td><td>95%</td><td>93%</td><td>94%</td></tr> <tr><td>9 進んで運動したか</td><td>77%</td><td>76%</td><td>74%</td></tr> <tr><td>10 決めた時刻に寝たか</td><td>72%</td><td>67%</td><td>68%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>78%</td><td>80%</td><td>78%</td></tr> </tbody> </table> <p>給食の残量 (5日間)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学期</th> <th>1学期(6月)</th> <th>3学期(1月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1学期(6月)</td> <td>32.9kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3学期(1月)</td> <td></td> <td>12.7kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>1学期(6月) 3学期(1月)</p> <p>全校朝礼や学校保健委員会で、朝食と排便習慣を取り上げて指導し、講演会を実施した。直後に実施した生活チェックにおいて排便や睡眠時間などに改善傾向が見られ、子どもや保護者の意識を高めることができ、効果的であった。さらに児童会活動を中心に給食を残さず食べる活動を行った。残菜調査では残菜が減り、指導の効果が見られた。</p>		項目	1回目	2回目	3回目	1 決めた時刻に起き	77%	74%	73%	2 朝食を食べたか	98%	98%	97%	3 朝の排便ができたか	55%	53%	52%	4 テレテレビやビデオを2時間にしたか	81%	80%	80%	5 ゲームやパソコンを30分以内にしたか	78%	75%	74%	6 家庭学習をしたか	75%	74%	73%	7 食後の歯磨きをしたか	93%	91%	90%	8 あいさつをしたか	95%	93%	94%	9 進んで運動したか	77%	76%	74%	10 決めた時刻に寝たか	72%	67%	68%	合計	78%	80%	78%	学期	1学期(6月)	3学期(1月)	1学期(6月)	32.9kg		3学期(1月)		12.7kg
項目	1回目	2回目	3回目																																																								
1 決めた時刻に起き	77%	74%	73%																																																								
2 朝食を食べたか	98%	98%	97%																																																								
3 朝の排便ができたか	55%	53%	52%																																																								
4 テレテレビやビデオを2時間にしたか	81%	80%	80%																																																								
5 ゲームやパソコンを30分以内にしたか	78%	75%	74%																																																								
6 家庭学習をしたか	75%	74%	73%																																																								
7 食後の歯磨きをしたか	93%	91%	90%																																																								
8 あいさつをしたか	95%	93%	94%																																																								
9 進んで運動したか	77%	76%	74%																																																								
10 決めた時刻に寝たか	72%	67%	68%																																																								
合計	78%	80%	78%																																																								
学期	1学期(6月)	3学期(1月)																																																									
1学期(6月)	32.9kg																																																										
3学期(1月)		12.7kg																																																									
	<p>(取組状況)</p> <p>(1) 食育推進体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 各学年に食育部員を置き、校内体制を整備 ② 新たに食育推進委員会を立ち上げて体制を整備 <p>(2) 全体計画と年間指導計画に沿った食に関する指導を充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 給食時間 <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員の共通理解のもとで学級担任と栄養教諭等の連携した指導を実施 ② 教科 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭科・体育科では、食に関わる内容について栄養教諭が専門性を生かした指導を実施 ・3年生で、社会科、総合的な学習の時間と関連し、地元の専門家を講師に招いて「豆腐作り」を実施 ③ 学級活動 <ul style="list-style-type: none"> ・「食の学習ノート」(島根県版)を中心として各学年で食に関する指導を実施 ・4年生で、次年度の家庭科と関連して、育てた大豆で「みそ作り」を実施 ④ 児童会活動(体育給食委員会・保健委員会) <ul style="list-style-type: none"> ・給食の残菜調べの実施(6月・1月) ・給食を残さず食べよう(児童朝礼での発表・給食時の放送) ・学校保健委員会において排便習慣についての発表 <p>(3) 家庭・地域における食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 1年生保護者を対象とした給食試食会の実施 ② 学校保健委員会において食をテーマとした講演会を実施 「バナナうんちで元気な子!～生活リズムを整えよう～」 ③ 食生活実態調査 <ul style="list-style-type: none"> ・生活チェック(3回) ・食生活調査(5年生) ④ 食育だよりの発行(2回) 																																																										
																																																											

- ⑤ 出雲スクールランチクッキング（親子料理教室）の実施
- ⑥ 地元ケーブルテレビの料理番組における食の情報発信
- ⑦ 給食使用食材の産地公開（給食センターホームページ）



(4) 個別指導の充実

- ① 肥満児童の食生活指導の実施
- ② 4年生血液検査後の高脂血症児に対する生活指導
- ③ 食物アレルギーに対する除去代替食を提供し、個別相談を実施

(5) 学校給食の充実

- ① 地産地消の推進
- ② 献立計画に沿った、教材としてふさわしい献立の実施

2 事業全体を通じて、特に効果のあった方策等について

食育推進体制を見直し、「校内体制の整備」や「食育推進委員会」を立ち上げて学校・家庭・地域の連携を深めたことが食育推進に効果的であった。

「校内体制の整備」では、食育部の体制を見直し、各学年に部員をおいて取り組んだことで組織的に食育を推進することができた。

また、「食育推進委員会」においては、保護者や地域の方が、子どもたちの食生活や健康状況の実態及び食育の取組について情報共有や意見交換を行ったことで関心を高め、理解を深めることができた。

このように体制を整えながら実施した本事業において、学期ごとに行った生活チェックや5年生の食生活調査では、排便習慣や朝食の内容について子どもたちの課題が明確になった。そこで全校朝礼や学校保健委員会では朝食と排便習慣を取り上げて指導したり、講演会を実施したりしたことで、直後の生活チェックにおいて改善傾向が見られるなど、子どもや保護者の意識を高めることができた。

さらに児童会活動を中心に給食を残さず食べる活動を行ったことで、残菜調査では残菜が減少し、指導の効果が見られた。

そして、次年度に向けての全体計画や年間指導計画の見直しについても、体制が整ったことで、全教職員で教科の内容や活動の実態に合ったものに見直すことができた。

3 今後の課題（今回の事業により新たに見えた課題など）

実態調査や日頃の給食の喫食状況などから、子どもたちの学力や体力に大きく影響する生活習慣における食生活の課題として、朝食の内容の問題や偏った食事、マナーの問題などが明らかになり、課題解決のために年間を通して様々な取組を行った。

その中で、給食の残菜が少なくなるなど、学年に応じた食についての知識や理解が深まり、実践につながった内容も多くあったが、望ましい食習慣を身に付けることや朝食内容を改善することについては、継続的な日常の実践につなげることは難しかった。

今後も引き続き計画的な食育の取組を全教職員が共通理解の上で行っていくために、栄養教諭が指導内容を明確に示し、必要な情報を提供し、学校全体で組織的に進めていくことで効果的な指導が実施できると思われる。

また、食育推進の最大の実践の場である家庭において問題の改善や解決を進めるためには、地域も含めた連携を深め、協力して取り組んでいく必要がある。

今後の取組としては、日常的な取組に合わせて、食育を取り入れた行事などを中心として全教職員が、地域・家庭と問題意識や情報を共有しながら、学校・家庭・地域がそれぞれの立場で食育を進めることが大切である。